

久礼田支所管内より

自給自足の生活を目指しています！

なべしま ふみ
鍋島 史さん(65)

女性部久礼田支部に所属し、2年前から『あぐり食堂ほっと』のスタッフとして働いている史さん。旦那さんの「美味しい」の一言が聞きたくて料理を勉強。そのことがきっかけで“食”への意識が変わったそうです。

手先が器用で多趣味な史さんは、空いた時間にクラフトバンドを使った手芸や編み物、パン作りを楽しんでいます。なかでもパン作りは5年程前から教室に通っています。レパートリーも豊富で季節の食材を取り入れたパンを焼き、家族や友人に振舞っています。

「旬のものを取り入れた料理を味わうことで健康に過ごせる。食べることは生きること」と、食の大切さを実感している史さん。長年磨いた料理の腕を振るい美味しい食事を提供しています。

南国中央支所管内より

生まれ変わっても農業をしたい！

つづき やすお
都築 康夫さん(61)

南国市でコシヒカリを中心に南国そだちやよさ恋美人、ナツヒカリを約6ヘクタールで栽培している康夫さんは、もとより両親が営む農業を継ぐ意志があり「早いに越したことはない」と、10年ほど勤めた会社を退職し、28歳で就農しました。

農業の魅力は「毎年新たな気持ちで挑戦できる」と、笑顔の康夫さん。栽培面では、美味しいお米を消費者に届けるために、雑草を生やさないようにするなど徹底した管理を心掛けています。

「作物が素直に育ってくれ、無事に収穫を迎えられると嬉しい」と、収穫の喜びを噛みしめています。「今年は去年よりもうまいことやっちゃおう！」と、食味向上を目標に掲げ、情熱をもって前向きに取り組まれています。

れいほく支所管内より

回し車が大好き！

にしむら いくや
飼い主：西村 郁也さん
ペット：せつちゃん(3)

ハリネズミのせつちゃんは、元々一人暮らしをしていた娘さんが飼っていたのですが、仕事の都合で時間が不規則になったため、郁也さんが引き取りました。

夜行性で、日中は寝て過ごすことが多いそうですが、機嫌が良い時はケージの外に出て元気に遊んでいるせつちゃん。これまであまり人に懐くことはありませんでしたが、最近ではスキンシップをとろうと、手のひらに乗ってくるようになりました。

せつちゃんは、暗くて狭いところが好きで、特に物陰やソファの下がお気に入り♪ また、水浴びも大好きで専用のプールを用意すると喜んで入ります。夜は、お気に入りのドライフードを食べ、回し車で一晩中走っているそうです。

長土地区 から こんにはは 今月の 気になる人

なかよし3きょうだい♪

(上) まつむら りゅうへい
松村 琉平くん(6)
(真ん中) ことう 瑚都ちゃん(3)
(下) ひでひこ 美玖ちゃん(3)
父：栄彦さん 母：みどりさん

ちょっぴり控えめな琉平くんは白木谷小学校に通う1年生で、好きな教科は国語と算数だそうです。なかでも、最近は辞典を見て漢字を書き写すことにハマっており、自主的に勉強に励んでいます。取材では、大好きなMarioのゲームの話がたくさん聞かせてくれました♪

妹の瑚都ちゃん、美玖ちゃんは双子の姉妹です。姉の瑚都ちゃんは、身体を動かすことが大好き！ 大人しい性格の妹・美玖ちゃんは、マイペースでテレビを見るなどのんびり過ごすことが多いそうです。

3人は仲が良く「よーいどん！」と走り回ったり、自宅でプールを楽しんだりしてのびのび過ごしています。ご両親は「元気に仲良く成長してほしい」と健やかな成長を願っています。

見習い修行中！！

かわにし まくら
川西 桜さん(18)

香美市の出身で、高知農業高校畜産総合課を卒業した桜さんは「大好きな牛に関わる仕事をしたい」と、学校の先生の紹介で土佐町にある農業法人「株式会社れいほく未来」での就職を決意しました。

同社では、土佐あかうしの繁殖・肥育・出荷業務を行っており、現在およそ380頭の土佐あかうしを飼育しています。そのなかで桜さんは、繁殖牛と子牛の飼育に携わっています。子牛の哺育業務では、ミルクの配合等も行っています。個体によって温度を変えたり、飲ませ方を変えてみたりと、熱心に取り組まれています。

「職場でのコミュニケーションを上手にとれるようになりたい」と、桜さん。日々試行錯誤しながら現場での経験を積み、腕を磨いています。



岡豊支所管内より



れいほく支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



第4区の代表牛に選ばれた第88みふじ

1 れいほく地域

全共出品牛最終審査

第12回全国和牛能力共進会高知県実行委員会は7月19日、土佐町の嶺北家畜市場で10月6日に鹿児島で開催する「全国和牛能力共進会」の出品牛最終選考会を開きました。

選考会では、候補牛5頭の発育状況などを厳正に審査し、種牛の部・第4区(繁殖雌牛群)に出場する代表牛3頭を選定しました。審査をした全国和牛登録協会の山口由紀総務部長は「4月の調教研修会から比べて良くなっている。生産者の努力が伝わる」と好評しました。

曾祖父の代から始まった経営を継承し、初の代表に選ばれた就農6年目の

式地優貴さんは「多くの方よりいただいた助言や指導をもとにしっかりと管理し、土佐あかうしの魅力を全国に発信していきたい」と意気込みを語りました。

第4区は、地域の特色ある雌牛集団づくりの実現と育成組合、改良組合活動の成果の確認と技術向上を目的とした出品区で、成雌牛3頭を1群として出品。10月4日には、壮行式が行われます。(県代表牛は以下のとおり)

- ◆第77いちこ(父Ⅱ千代隆 母の父Ⅱ山桜・以下同) 近藤義孝 ◆第88みふじ(百合幡、南川山) 式地優貴 ◆第66しげみ(桜栄、南川山) 細川茂幸



3年ぶりに開催された家の光大会

2 南国市地域

3年ぶり！令和4年度家の光大会開催



J A高知県女性部南国市地区は7月5日、令和4年度家の光大会を開きました。同大会は、「家の光」を活用した協同活動の展開と女性部組織の強化、活性化を図ることを目的に開催しており、今年は部員63人と家の光協会、J A役員が参加しました。

コロナ禍により2年続けて中止となったため3年ぶりの大会。今年は、感染防止対策として規模を縮小しての実施となりました。開催にあたり、J Aの垣内育男経済担当常務は、「女性部活動は地域の源。活発な活動を展開し、盛り上げていってほしい」と挨拶。坂本栄子部長は、「組織強化を図りながら、元気な女性部にしていきたい」と述べました。

家の光協会表彰では、「家の光」の普及に優秀な成績をあげた支部を表彰。令和3、4年度ともに久礼田支部と南国中央支部が受賞したほか、永年購読者に12人が選ばれました。グループ別活動発表では、南国中央支部の武田和美さんと大篠支部の窪田理佳支部長が日頃の活動の成果を発表し、会場は大きな拍手で包まれました。

3 れいほく地域 『家の光』を活用した手芸教室開催



カラフルな引き出しボックスに仕上がった手芸教室

J A高知県女性部れいほく地区本山支部は7月13日、本山支所で『家の光』を活用した手芸教室を行いました。同支部の真辺由香支部長を講師に部員5名が参加し、引き出しボックス作りに挑戦。材料には、牛乳パックやダンボールなど身近なものを使用し、インテリア小物としても使えます。

部員らは「思っていたよりも難しい」と、苦戦しながら1時間程かけて完成させました。真辺支部長は「今後も『家の光』を活用しながら、楽しく活動をしていきたい」と話しました。完成した作品は、9月のJ A高知県家の光大会で展示しました。

4 南国市地域 早場米の集荷・検査スタート



採取した米を検査する検査員

J A高知県士長地区の南国市管内で令和4年度産早場米の集荷と検査が始まりました。管内5カ所の検査場では、昨年より3日早い7月19日より検査を開始しました。

検査では、J Aの農産物検査員が形質や整粒、被害粒の品位を鑑定し、等級を決めます。J A南国営農経済センター販売課の坂本裕太検査員は「観測史上最も早い梅雨明けにより、品質への影響が心配されたが、出来栄は概ね良好」と話しました。

早場米の検査は8月下旬まで行われ、管内全体で7万5000袋の集荷を見込んでいます。9月末頃からは中生米の集荷が始まります。

5 れいほく地域 れいほく園芸部が兵庫県の夏祭りに初出店！



「B麺」の実演販売を行う生産者ら

J A高知県れいほく園芸部は7月16日、兵庫県神戸市の垂水商店街で販売活動を行いました。神戸神戸青果市場からの紹介で、3年ぶりに同商店街で開かれた夏祭りへの出店。生産者やJ A職員ら8人が参加し、地元食材のPRを行いました。

イベントでは、米粉麺と土佐あかうし、地元野菜を鉄板で炒めた特製焼きそば「B麺」の実演販売のほか、米ナス・カラピーマンなどの「れいほく八菜」や柚子加工品などを販売。来店客には、調理方法や生産者イチオシの食べ方を紹介したレシピ入りリーフレットを配布し、アピールしました。

6 南国市地域 土用の丑の日！毎年恒例のうなぎ店頭販売



丁寧にうなぎを焼く協議会メンバー

J A高知県士長地区の直販所「かさぐるま市」で7月23日、土用の丑の日に併せて、毎年恒例のうなぎの店頭販売を行いました。かさぐるま市運営協議会やJ A職員が早朝から火を起し、駐車場南側のテラスで炭火焼きを行いました。

うなぎは春野産で、今年は予約注文と店頭販売合わせて360匹を用意。一枚ずつ焼き色を見ながら丁寧に焼き上げました。店内入口には香ばしい匂いが漂い、来店客は美味しそうに焼き上がったうなぎを買い求めていました。

同直販所の加工場では、委員らが協力して約200食のうなぎを調理し、販売しました。

えいのう〜



れいほく地域より ■ れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

秋肥で収穫量アップを目指しましょう!!

ユズなどかんきつ類は「表年」、「裏年」が出やすい品目であるため、秋肥は重要な施肥作業となります。

- 目的**
- ・着果負担によって低下した樹勢の回復
 - ・耐寒性の向上
 - ・下垂や寒風害を防ぐ
 - ・翌年の発芽と開花の準備 等



- Q. どんな肥料をやった方がいいの?**
 A. 即効性の肥料を使用してください。成木の場合は窒素成分で9kg~10kg、65本/10aだと1本あたり窒素約1.2kgを施用が目安です。
 例) 土佐ゆず化成 (12-8-10) であれば10aあたり約80kg(4袋)
 燐硝酸加里S604 (16-10-14) であれば、10aあたり約60kg (3袋)
- Q. いつ施肥したらいいの?**
 A. 肥料は施用して樹体に吸収され、利用されるようになるまで1カ月程度を要しますので、10月下旬には施肥を行い、本格的な冬が到来するまでに樹体に養分を蓄えておきましょう。
- Q. 施肥を行う場所はどこ?**
 A. 樹は基本的に根の先端から肥料成分を吸収するため幹に近い所は避け、枝の先端下の地面の表面に施肥を行いましょう。

GAP 掲示板 vol.29 番外編 れいほく地域

GAP環境点検で指摘を受けた項目は、改善し更なるより良い農業を目指しましょう。
今回は、GAP環境点検で特に指摘の多かった事項を振り返ります。

指摘の多かった事項
ランキング

第1位 防除衣・マスク等の着用

- 第2位 緊急連絡先の掲示
- 第3位 使用済み資材の保管



農薬散布時の防除衣・マスク等の着用が不十分な事例がありました。帽子、保護メガネ、マスク、防除衣(長袖・長ズボン)、手袋を着用しましょう。また農薬を調合する時から、直接皮膚に付着させない、鼻や口から吸引しないように着用を心掛けましょう。

南国市地域より ■ 南国営農経済センター 営農指導課 0881-86312415

葉ニンニク栽培について

○栽培期間
 定植時期は8月下旬から11月下旬まで、収穫時期は10月下旬から翌年3月までです。11月定植の栽培では、葉色維持と防寒対策として、収穫の約2週間前にトンネル被覆を行います。

○種子準備
 葉ニンニク用品種を10a当たり約1000kg準備します。種子は、1片ずつ分球し、大、中、小に形をそろえます。選別した種子片は、ネットに入れ、植付け前に1昼夜流水に漬け、吸水させます。その際、種子が浮かないようにしてください。

○定植準備
 排水良好な土地を選び、水はけの悪い土地では高畝にすると良いでしょう。定植約30日前に、十分に腐熟した牛ふん堆肥を10a当たり1~2tもしくは、ケイフンを10a当たり500kg投入します。堆肥が多いほど保水力も増し、葉先枯れなどの乾燥害を防ぐことができます。土壌のpHは5.5~6.5になるように、アヅミン苦土石灰を入れま

○定植・マルチ
 充実した株を得るため、密植を避け、植付け間隔を12~15cmにします。覆土はリン片頂部が見える程度とし、定植後は敷きワラ、もしくは、こかげマルチをします。植付けから発芽までの間は乾燥に注意し、適度な灌水を心がけましょう。なお、8月下旬から9月上旬の高温期は種子が高温で腐敗してしまう場合があるので地温が上がりにくいように注意します。

○追肥・収穫
 葉が15cmくらいに伸びた頃から生育を見ながら追肥を行います。外葉が退色し始めたら、液肥もしくは葉面散布剤を施用してください。ふり肥を行う場合は展開した葉のすき間に肥料が残らないように注意しましょう。草丈が45cm以上になれば引き抜き、収穫を始めます。収穫が遅いほど充実しますが、遅すぎると球(鱗茎)が肥大したり葉が硬くなるので注意しましょう。



南国営農経済センター 営農指導課 吉川 悠也

!!ご注意ください!! キュウリの黄化えそ病 対策には圃場内外の雑草対策が肝心!

キュウリ黄化えそ病はMYSVというウイルスによって引き起こされる病気で、平成6年初発以来県下で発生し続けています。
 本病はミナミキイロアザミウマがウイルスを媒介することは周知のことだと思います。
 近年、本病ウイルスは、ウリ科植物以外にも多くの雑草、たとえばナスナヤカタバミ、ノゲシ、ヒメムカシヨモギ、オオイヌフグリ、トキワハゼ、ホトケノザ、エノキグサ、オランダミミナグサなどにも感染することが明らかになりました。

これら雑草を圃場内外で発生させないよう除草を徹底しましょう。



南国営農経済センター 営農指導課 佐藤 功

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

認知症共済の記事が気になりました。家族が認知症と診断され、長く病院生活を送っています。この共済について、もっと詳しく話を聞きたいと思いました。

(十市支所・59歳)

▼65歳以上の約6人に1人が認知症患者と診断されているそうです。「認知症共済」は、認知症に特化した生涯の保障となっております。詳しい内容はお近くの支所までお問合せください。

吉延地区は棚田で有名な所ですが、行ったことがなく、素晴らしい眺めを見たいです。棚田アートやコンサートもやっているんですね。秋になるのが楽しみです。

(大杉出張所・83歳)

▼地域の資源を生かし、次世代につなげていこうと、協力して取り組まれています。稲穂が実り、黄金色に染まる秋の棚田の風景も楽しみです。ぜひ、足を運んでみてください。

吉延地区の棚田アートを先日見てきたばかりです。虎やパンダなど4カ所に作られていて棚田を守る人々の熱意が感じられました。

(三和支所・78歳)

▼今年の干支の虎やトンボなどが色鮮やかに浮かび上がっていて感無量でした。美しい棚田の風景を次世代につないでいってほしいですね。

県内の色々な情報が載っていて、いつも楽しく見えています。行ってみたいところがたくさんあります。

(長岡支所・44歳)

▼県内各地のお店の情報などを掲載しております。誌面で紹介されているお店に行ってみてくださいね。

短歌紹介

惚け防止 頭かかえて
解くバズル
(日章支所・75歳)

ハクビシン 裏年桃を
食べつくし
(長岡支所・68歳)

真夏日に メダカの水鉢
日陰に移す
(れいほく支所・58歳)



棚卸実施による営業時間変更

9月30日(金)の棚卸実施のため、下記店舗の営業時間に変更となります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

部署	30日(金)	
	午前	午後
南国資材店舗	8:00~13:00	臨時休業(棚卸)
南国南部資材店舗	8:30~13:00	臨時休業(棚卸)
長岡経済課	8:30~13:00	臨時休業(棚卸)
十市経済課	8:30~13:00	臨時休業(棚卸)
JAグリーンなんこく	臨時休業(棚卸)	
ごとおち市	9:00~13:00	臨時休業(棚卸)
南国農機センター	8:30~13:00	臨時休業(棚卸)
日章給油センター	7:30~20:00	(通常営業)
長岡給油所	8:30~13:00	臨時休業(棚卸)
十市給油所	8:30~17:00	(通常営業)

部署	30日(金)	
	午前	午後
Aコープとさ	臨時休業(棚卸)	
JAグリーンとさ	臨時休業(棚卸)	
JAグリーンもとやま	臨時休業(棚卸)	
JAグリーンおおとよ	臨時休業(棚卸)	
大川購買店舗	臨時休業(棚卸)	
本山購買店舗	臨時休業(棚卸)	
れいほく農機センター	臨時休業(棚卸)	
森給油所	臨時休業(棚卸)	
さくら給油所	臨時休業(棚卸)	

お問い合わせ先 南国市地区：南国営農経済センター購買課 (TEL: 088-863-2413)
れいほく地区：れいほく営農経済センター購買課 (TEL: 0887-82-2805)

南国

購買課より 令和4年度用水稲種子・苗の予約注文

水稲種子および水稲苗の予約取りまとめを致します。期日までに最寄りの支所、経済課、南国営農経済センター、又は、営農経済渉外課担当職員まで注文書にてお申し込み下さい。

申込期限 令和4年10月31日(月)

※天候状況等により入荷数量が予約数量を下回る場合があります。
その場合は、数量を調整させていただきますので、ご理解ご協力をお願い致します。
※申込期日以降のご注文は、お受けできない場合があります。
※混種事故防止のため、配布後の返品はお受けできません。

お問い合わせ先 南国営農経済センター購買課
(TEL: 088-863-2413)

れいほく

れいほく柚子加工場短期アルバイト募集

勤務場所 れいほく柚子加工場 (大豊町黒石200-2)

作業内容 受入作業、選果作業、梱包作業など

期間 10月中旬～11月末頃

勤務時間 8:00～17:00 **募集人数** 若干名
※出荷量により変動あり

お問い合わせ先 れいほく柚子加工場 担当：長野・松繁
(TEL: 0887-73-0080)